

全国拡大セミナー

地区拡大増強委員長

パストガバナー 杉村 進

日時：7月8日(金)9：00～16：00

場所：ABC会館（港区芝公園）

上記セミナーは青山幸高パストガバナーがモデレーターをつとめられて開かれました。R.I.拡大委員島津久厚パストガバナーも出席されました。

1983年4月末現在、世界のロータリークラブ数は2万を越え、ロータリアン概数は91万7千5百人。6月末現在、日本のロータリークラブ数は1585（これには6月29日創立の大分空港クラブが入っていませんが、7月13日R.I.の承認となりました）、ロータリアン概数88,800人となっております。

ロータリーにとって拡大、会員増強は大切なことであり、奉仕の理想を実践するためには必要欠ぐべからざることあります。

その拡大・増強が近年鈍化の傾向が認められるということは、世界の将来にとってゆゆしい問題であるといえましょう。ウィリアムE・スケルトン会長は、新年度の方針として「みんなにロータリーを、みんなに奉仕を」をかかげられました。

セミナーの内容は多岐にわたりますので要点についてのみお知らせいたします。

1982～83年度に日本国内26地区中、クラブ数の増加ゼロ地区が7地区ありますが、1クラブ増加が10地区、2クラブ増加が9地区で合計して28クラブがふえています。会員数増加は約2,000人です。これを1977～78年度から82～83年度まで6年間の増加をみますと、77～78年度40クラブ、78～79年度44クラブ、79～80年度41クラブ、80～81年度40クラブ、81～82年度23クラブ、82～83年度28クラブとなり、前の4年間は40クラブ以上ですが、その後の2年間は20だいております。

1979年青山パストガバナーの調査によると、拡大が順調に進む理由としては、

- 1) スポンサークラブ、特別代表、拡大カウンセラー、分区代理など関係者が熱心である
- 2) 二階建方式が成功

3) 地区分割が刺激となった

4) 他の奉仕クラブが存在しない

5) その他

反対に拡大が進まない理由としては

1) 人口の減少

2) 経済不況

3) 大都市の昼間人口は多いが、地域に対する関心がうすい

4) ロータリアンの孤高主義

5) 全搬に熱意が不足

6) 他の奉仕クラブが先行

7) その他

となっております。

セミナー全体として活発な発言があり9時から午後4時までの時間がフルに使われました。

1982～83年度 拡大状況							
地区	グラフ	年度内増	'77～'83新クラブ	地区	グラフ	年度内増	'77～'83新クラブ
250		0	6	260		1	15
251		1	4	261		2	10
252		0	4	263		2	5
253		0	3	262		2	10
254		0	12	265		1	13
255		1	11	266		2	10
256		2	11	264		2	5
257		2	16	267		1	10
258		0	2	268		2	7
275		1	3	269		1	2
259		1	18	271		0	5
279		0	7	270		1	8
第1ゾーン		8	97	274		1	2
				273		2	17
				第3ゾーン		20	119
合計		28、		216			
◎1基礎資料は、日本支局の調査							
2地区番号順でなく'77年以降分割された地区を隣合せた							